

2019暴力・暴言根絶に向けた 「サッカーファミリー安全保護宣言」 研修会【県北地区】開催！！



7月19日（金）多賀市民会館にて、『2019暴力・暴言根絶に向けた「サッカーファミリー安全保護宣言」研修会【県北地区】』を第5回目として実施し、139名にご参加いただきました。

7月30日（火）に第6回目の【県南地区②】が開催されます。県内指導者全員が受講いただくことを目指しておりますので、まだ受講されていない方はご参加くださいますようお願いいたします。

<第5回【県北地区】研修会>

主催者あいさつ	：（公財）茨城県サッカー協会 常務理事兼事務局長	鈴木 純一
暴力暴言の根絶に向けて	：（公財）日本サッカー協会 経営企画部	永井 雅史氏
これからのサッカー指導	：（株）鹿島アントラーズFC育成担当部長 Jアカデミーディレクター	山崎 勇次氏
懲罰規程の改正について	：（公財）茨城県サッカー協会 常務理事兼規律フェアプレー委員長	根本 清史

<参加者の感想>

- ・「意図を持った言動でもその意図が伝わらなければ・・・」という話は自分の日頃の指導を振り返るきっかけとなった。
- ・指導者の押し付けではなく、選手（子供）が理解できる指導を今後は心がけていきたい。
- ・自分自身のみならずチーム全体が暴力・暴言がない状態をつくっていききたいと感じた。
- ・自分はサッカー経験ゼロでの指導をしています。その中で上手く選手へ伝わらないなどもあることもありました。今回の研修を経て、子供第一に元気に目を輝けてプレーできるように指導していききたいと思います。
- ・“大人の入口”である2種年代の指導の在り方を題材として加えてほしかった。また、この内容は指導者だけではなく、選手、保護者、すべてが聴講できる仕組みを作り、認識の統一をしていただきたい。